

2017年度助成応募団体一覧

	応募団体名	活動の概要	助成申請額	助成額	選考委員評価
1	特定非営利活動法人 すぎなみのたね	ふくぶくひろば実行委員会のメンバー同士が協力して、乳幼児から高齢者まで、誰でも気楽に立ち寄れるお昼ごはんの会を開き、同会を通じて地域の課題や子どもたちの食の問題を参加者と共に考え、子どもたちの育ちに活かしていく取り組み。	10万円	7万円	活動の対象者が広い。他団体とのかかわりで地域の活性化につながる。高齢者と子どもの交流の場にもなる。ただし、子どものためというより、子どもの役に立つ企画を通じた大人のための活動という側面が強く、満額回答とらなかった。
2	方南こまち	幼児・小学生向けに、女子美術大学児童美術研究所（ちびけん）によるアート系ワークショップを行います。アートに触れることで、子どもたちが独自の発想力を養う体験になればと考えています。	8万円	6万円	子どもを持つ保護者向けの活動で地域限定となっている。しかし、地域に密着し、エリアの中での関係性を構築してゆくことで、地域の活性化、郷土愛の醸成につながる。他地域への波及にも期待。助成申請したイベントをきっかけに拡大する意思を持ち、今回の助成で力をつける可能性がある。設立からまだ年数が浅く、立ち上げ支援として助成したい。
3	金曜学習室	金曜学習室 杉並区内の児童生徒へ「学習支援」を行うとともに、参加する子どもたちにとって安心できる「居場所」としても活動している。	10万円	10万円	社会とのつながりにはコミュニケーション力を身に付けることが欠かせないが、その準備を提供する意義深い活動。対象者の人数は少ないが、子ども個人に直接かかわる活動で、資金助成の効果が高い。他からの資金獲得を進めて活動の充実を図っている意欲も評価できる。
4	こどもの成長を護る 杉並ネットワーク	①子供の心の成長&自立支援、②良好な親子関係・家庭環境の構築支援、③大人の情操教育支援を目的とし、ご家庭で実践できる「対話式」絵本の読み聞かせを紹介する子育て講演会を実施する。	7万円	1万円	子どもの成長に必要な親子関係の構築や親自身の成長につながる活動。しかし、長年同様の活動を続けており、自前で講師ができるのではないかと。また、子育て応援券の活用も検討してはどうか。これまで累積で多額の助成をしており、今回は講師交通費程度の助成。
5	特定非営利活動法人 日本児童文化教育研究所	(1) 子供かるた会を正月に開催（例年杉並区内の神社座敷借用 参加費300円） (2) 親子で参加できる親学講演会（参加費300円程度）を10月、4月、7月位に開催予定。（「親が変われば子供も変わる」として親学にちなんだ講演会で好評を博している）	4万円	1万円	団体としての活動に一貫性が感じられず、ポリシーがわかりにくい。かるた会を通じて文化や作法の振興を図る活動は理解できる。かるた講師代の補助として支援する。
6	南相馬&杉並 トモダチプロジェクト	南相馬と杉並の子供達が、同じステージで踊り、歌うイベントを開催。東日本大震災後、300km離れた場所で、同じダンス、同じ歌をレッスンする活動を続けてきました。年に1度、合同でのステージを開催しています。本年度も南相馬の子供達を杉並に招き、ステージを開催したいと思えます。	10万円	5万円	自分の街以外に友達がいるというのは子どもの世界を広げ、また地域を出ることで自分の街を見直すきっかけにもなる。対象の子どもたちが入れ替わりながら延べ70人に係わっていることも評価できる。しかし、限りある助成金総額の3分の1を交通費に提供するのはためらわれるので、半額助成とする。多くの人の理解が得られやすい活動で、工夫次第で大きく化ける可能性を感じる。
	合計		49万円	30万円	◆助成対象活動をPRする際には、楽ちゃんマークとともにこの助成資金を活用していることを明記してください。 ◆SCW2018で報告の場を作る計画なので、団体同士でご検討ください。助成団体同士の交流を促進し、新たな企画が生まれることも期待しています。